宍粟の思想を伝えるローカルマガジン

TAKE FREE

2023/春号

Vol.6

とらねこしそう

虎猫思想

私の居場所、見つけました。

ねこの手、かします。

虎猫編集室

春を待ちかね　イチゴ・イチエ

まるで宝石のように輝く真っ赤に熟したイチゴ。
子どもから大人まで誰からも愛される
ジューシーなイチゴとの出会いがここに。

見惚れるほど美しい、野菜界のジュエル

十年に一度の強烈寒波が猛威を振るった2023年の冬。イチゴ直売とイチゴ狩りのスポットが、山崎町五十波に誕生した。名前は「イチゴベース」。高台に置かれた赤と黒のコンテナハウスと、すぐそばにある大きなビニールハウスがその舞台である。

イチゴ狩りといえば全国的に人気アクティビティ。春になると雑誌やテレビをはじめ多くのメディアで、毎年こぞってイチゴ狩りを中心としたドライブコースが組まれるほど。そんなみんな大好きイチゴ狩りが宍粟市でできるなんて。喜ばない人がいるわけがない。たぶん。いや絶対。

そんなわけで、オープン前から若い層を中心に注目が集まっていたイチゴベース。さらに、一度試しにと直売所や市内7つの販売場所で手に取った方々も多かったようで、イチゴの大きさと完熟ならではの甘さに驚いたリピーターが続出。スタートしてほどなく休日はもちろん平日も直売所へと足を運ぶ人が増えていった。「こんなに早く周知されたのは想定外だった上に、寒波の襲来も影響し、1～2月中はイチゴが間に合わない状況も多かったんです」と申し訳なさそうに語るオーナーの構真吾さん。うれしい悲鳴が続いたものの、春が近づいてくるとともに安定供給ができるようになってきたとほっとしたような笑顔を見せる。

ぐんぐんと気温が上がってきたこれからの季節こそ、イチゴ本来の旬。まだ堪能していないならぜひ五十波、または市内の販売場所へ。甘い香りに誘われて口に入れた瞬間、一期一会なイチゴに衝撃を受けるかもしれない。

イチゴベースで栽培されている品種は、あきひめ、紅ほっぺ、やよい姫。その日収穫されたばかりの完熟イチゴが店頭に並んでいる。その日によって収穫量が変わるため、午前中で売り切れることも。直売のない日もあるので来店前に確認を

「相手は生き物ですから思い通りにはいかない。知識も経験もまだまだないので、一つひとつトライアンドエラーを繰り返すだけです」という構さん。その状況を楽しんでいるかのように、農業は奥深い、と笑った

常に成長していきたい
だから夢を抱いて生きる

「イチゴベース」のオーナーである構真吾さんと初めて会ったのは2022年初夏。3月までは県立高校の体育教師だった構さんが、西播磨の先輩イチゴ農家さんや農業普及改良センターでの数カ月の研修を終え、毎朝、育苗ハウスで一つひとつ丁寧にイチゴの苗を増やし、水切れを起こさないように見守っている、そんな最中だった。

構さんが高校教師を辞めてイチゴ農家になろうと思ったのは「そのまま止まってしまうのが怖かった」からだという。「もちろん教師という職業も楽しかったんですが、もっと成長したかったんですよね」という構さん。「先生って生徒に夢を持て、夢を実現するために頑張れっていう立場じゃないですか。それならまず僕が夢を持たないとダメだなと思ったんです」。じゃあ自分がやりたいことはなんだろうと考えてたどり着いたのがイチゴ農家。数年前からは「将来はイチゴ農家になる」と生徒たちにも公言していたという。

年度いっぱいで教師を辞め、イチゴ農家になると家族に告げたのは2021年。周囲の反応は「お前ならやれるんじゃないか」だったそうだ。それも一歩踏み出す勇気になった。もっとも構さんは学生時代から常に変化し続け、常に進化していた人。学生時代にはソフトボールに打ち込み、大学時代には日本一に、社会人になってからも国体出場を経験している。大学卒業後は、大手証券会社で勤務していたが、地元に貢献したいと兵庫県立高校の教師へと転身。ソフトボールの指導者としても活躍する。そんな姿を見ていたからこそ、周囲の誰も驚かなかったのだろう。

「よし、やろう！」と早速、たつの市にある農業普及改良センターを訪ねた構さん。地元の農協や宍粟市の農業振興課にも相談し準備を始めた。猛暑でなかなか苗が増えなかったり、資材や原油の高騰に頭を抱えたりと課題に直面することも多かった。「夢を叶えると言っても現実は大変です。1年目の今は、収益だってどうなるのかわからない。不安がないといえば嘘になります。起業も農業も初めての経験ですから常に手探りです」というが、その瞳はイキイキと輝いている。

現在はアルバイト3名が勤務。3年後までには規模を拡大し、法人化を目指すという。実は、そのひとりは教師時代の教え子だ。「もがきながらでも夢を実現する姿を生徒に見せるのが、教師だった僕が最後に教えられることかもしれないですね」。真っ黒に日焼けした顔をキリッと引き締めたその表情は、信念を持った経営者でありつつも果てない夢を描いた少年のようだった。

子どもたちはもちろん、大人も子どもに戻ったかのように満面の笑みを見せる。誰もを虜にする魅力がイチゴにはある。楽しんだ思い出や輝く笑顔を届けられることが、さらに良いものをと目指す糧となっている

スタッフのりりかさんは構先生が率いたソフトボール部の元キャプテン。撮影後「構先生、学校にいた時と今とでは全くの別人なんですよ。今のほうが断然いいです（笑）」とそっと教えてくれた

ICHIGO BASE
080-1097-1515
宍粟市山崎市五十波601-1
営／9:00-16:00
ichigo.base

さすが主役級の存在感

みずみずしいフルーツたっぷりのフルーツサンドの上に
のっているのは、収穫した中でも特別大きなイチゴ

届けたいのはモノではなく想い出
作り手の思いも大切にしたい

一昨年のオープン以来、各メディアが大注目。今や宍粟で知らない人はいないのではないかと思うほど人気のサンドイッチショップでも、イチゴベースのイチゴに出会える。「素材全てに言えることなんですが、せっかく使うのであれば作り手の想いが伝わるようなものを使いたいんですよね」と話す店主山内拓也さん。昨年夏に構さんと出会った頃からイチゴのシーズンには素材として使おうと考えていたそう。「サンドイッチを売っているんではなく、ここで食べた時の楽しさや嬉しさ、そんな想い出を売りたいと思って営業しているんです」。口いっぱいにほおばったサンドイッチも、大きなイチゴも、ここで楽しんだ記憶として刻まれれば。そう言って、山内さんは遊具で元気いっぱい遊ぶ子どもたちに目を向けた。

ボリュームいっぱいのフルーツサンド（700円）の他、看板商品の野菜ゴロゴロサンドや人気のエビマヨサンドなども。コンテナ前には自由に遊べる遊具が！

YAMA SAND
090-9546-6981
宍粟市山崎市御名140
営／9:00-15:00
休／月曜日
sandwich__factory_shiso

宝石のような美しさ

それぞれのケーキにぴったりの素材をセレクトする同店。
イチゴベースのイチゴの個性が光るスイーツに

素材の魅力を存分に引き出す
相性ぴったりの組み合わせを

関西のさまざまなケーキ店でパティシエとしての腕を磨いた後、生まれ育った西播磨の地に戻り、木いちごに入社。その後、前オーナーから経営を引き継いだというオーナパティシエの年綱篤さん。地元で愛されてきた木いちごらしさも残しながら、経験を活かしてさまざまな種類のスイーツを生み出してきた。フルーツの旬はもちろん、品種ごとの特性も活かしてケーキに使用するという年綱さん。「完熟してから収穫される構さんのイチゴは甘みが強いのも魅力。ショートケーキなどに使うとお互いの良さを打ち消しあってしまう」と春だけ味わえる特別なスイーツへと昇華させた。「その場所でしか味わえない魅力を詰め込んだケーキが作れるのはパティシエとしても光栄」と話す年綱さんとのコラボも見逃せない。

甘さを抑えたアーモンドクリームとの相性抜群の「タルト・フレーズ（680円）」。
イチゴをふんだんに使用した艶やかなタルトは贅沢な春の味わい

森のお菓子工房 木いちご
0790-63-3800
宍粟市山崎市庄能379-1
営／10:00-18:30
休／火曜日
kiichigo.15

訪ねてみました

猫さんぽ

笑顔の奥に強さを感じる「母と娘のブルース」が聴こえる

唐揚げと水ギョウザが美味しい、だけじゃなかった！

「まさかね、こんなに足を運んでいただけるなんて思ってもみなかったんです」。優しい笑顔でそう語るのは、娘と一緒に「ワンネス食堂」を経営する金本美鶴さん。2021年3月にオープンした同店は、2年経たないうちに市内外から多くの人が訪れる名物食堂となった。

仕事をしながら娘5人を育て上げ、9年にわたる介護を終えた金本さん。これまでの経験を活かして、みんながホッとできるような場所を作れたらと思うようになったという。「在宅介護を続けてみて、家族側の気持ちがわかるようになりました。その道を通ってきた人間だからこそ、わかることってあると思うんです。ちょっと弱音を吐けるような場所があれば、頑張れるんですよね」。最初は交流サロンのイメージだった。同じように介護を頑張る人たちへの想いに寄り添えたら、という。

そんな夢を描いていた母を突き動かしたのは最愛の夫を不慮の事故で亡くし、大病を乗り越えたばかりの娘と孫。「旦那さんの分までしっかり育てていかなきゃならない。それを何とか手伝いたくて」と金本さんは、起業を決意。資金を借り入れて空き家になっていた実家をリノベーションし、昔から家族や友人に好評な唐揚げと水ギョウザを提供する食堂をオープンさせることに。大々的な告知はしなかったため、のんびり営業しようと思っていたそうだが、働く人たちにお腹いっぱい食べてほしい、そんな思いを込めたワンコインメニューなども注目を集め、すぐに大盛況となった。

「コロナ禍のオープンにも関わらず、地元のお客さんにも観光の方にも来てもらえて。応援してもらえることが母も私も嬉しいんです。もっと頑張らないと」と話すのは娘の寺町郁美さん。持ち前の明るさで店を切り盛りする。原油高や鳥インフルエンザの影響は大きいが、「大変なのはみんな、おんなじですもんね」と話す元気な笑顔に、自分も負けてられないと背中を押される人も多いはずだ。

ワンネス食堂の看板は唐揚げと水ギョウザだと思っているとしたら、それはまだワンネス通ではないのかも。ここの看板は、母娘ふたりとそしてスタッフの方。おかえり、と迎えてくれるような空間と、聖母のような大きな愛を感じる、なんともあったかいサービスこそがまた来たくなる一番の理由なのだ。

からあげ・水ギョウザ
ワンネス食堂

宍粟市千種町下河野232
☎ 0790-71-0561
9:00〜18:00
休 月曜、木曜（日曜はテイクアウトのみ営業）

左からスタッフの小河美千代さん、美鶴さん、郁美さん

まんまるな唐揚げほど知られていないものの、実はスペシャルティコーヒーが味わえるこちら。11時まではモーニングも提供。ドリンク代+100円で充実した朝食を楽しめる

みんにゃ、かけがえのない存在

#猫のいる幸せ

さぐあとの出会いから始まった、猫との暮らし ハンドメイド作家と7匹の猫の日々

ガソリンスタンドに置かれていた箱の中で震えていた子猫。猫好きの友人が見つけた生後1カ月ほどの小さな命との出会いが、土井景子さん家族が猫と暮らすようになったきっかけでした。すでに3匹の猫を飼っている友人から、飼ってもらえないかと相談を受けた土井さんでしたが、ちょうど家を建てたばかり、しかもまだ子どもたちは3歳と1歳。「壁をバリバリされるかな、子どもたちが引っかかれるかなと最初は不安だったんですが、そんなこと一切しなかった。本当にいい子なんです」。ちょうどクリスマスにやってきた子猫に子どもたちは大喜び。初めて猫を飼うとあって何もかも手探りだったものの、子猫がやってきた日から愛らしさのとりこに。さぐあと名付けられた子猫は、子どもたちと一緒にスクスクと成長していきました。

もなかとあずき兄妹がやってきたのは8年前、さぐあが9歳の時。高知県の動物団体のサイトを見て一目惚れした土井さんは、団体の方と中間地点である香川県でお会いして2匹を引き取ったそう。「さぐあはずっと1匹だったので友だちをお迎えしたくて。子どもたちが大きくなってきたので多頭飼いすることに決めたんです」。

捨てられた子猫がほっとけないと里親さん探しをしてみたこともあるそうですが、猫たちが幸せになれるおうちに探すのは大変。自分が見届けられる範囲で関わりたい、と思うようになったという土井さん。はいえ、いつかさぐあが亡くなってしまった時に自分たちが寂しいからなのかも、それは人間側の勝手な都合じゃないかと葛藤したとも話します。

その後、多頭飼育のおうちで生まれたちょも、まろん、くろみ、むむを3回に渡って里親としてお迎え。その間にさぐあは14歳で、そしてもなかは6歳で虹の橋を渡ってしまいましたが、現在、土井家には5匹が仲良く暮らしています。「さぐあが亡くなってすぐにもなかが虹の橋を渡った時には、あの子たちは幸せだったのかな、とかなり落ち込みました。向こうで待っていてくれたらいいなって思っています」。目を潤ませてそう語る土井さんですが、それを見守る個性豊かな猫たちの表情が今の暮らしが幸せなことを教えてくれています。

晴れた日は玄関口で並んで日なたぼっこ。ここより外には出かけませんにゃ

Saguaという名前で活動しています

「Sagua」という屋号で作家活動を行い、害獣駆除によって命を落とした鹿の生きた証を美しく残してあげたいと、鹿革を美しい色に染め、バッグや小物へと仕上げている土井さん。生きとし生きるものへの愛を、掬い上げて心を込めてカタチにする、その優しい眼差しと豊かな愛情は、すぐそばでリラックスしている5匹と、そして橋の向こうに旅立った2匹の猫たちにも向けられています。

洋飾店 Sagua
オンラインショップ

兵庫県動物愛護センター 龍野支所「啓発棟」に行ってみよう。

まだ「運命の猫」とは出会っていないけれど、猫との暮らしを考えている人に、是非一度足を運んでほしいのが「啓発棟」。猫のモデルルームで、猫との暮らしを想像してみては？譲渡を待っているねこちゃんに会える時期もあるので、詳しくはセンターへ確認を。

まずは知りたい！兵庫県動物愛護センターのこと

◆猫を取り巻く状況は？

猫は繁殖力のとても強い動物。そのため、飼い主のいない猫が増えてしまうと、糞や尿の臭いや庭や畑、ゴミ箱を荒らすなどの問題が起こります。実際に、センターには近隣からの苦情や相談がくることも多いそうです。負傷した飼い主不明の猫を収容した時には、センターの施設内に備えられた診察室や手術室で、獣医資格を持った職員が応急処置も行っています。

◆センターでの猫への対応は？

動物愛護管理法で動物の飼い主には「終生飼養」の責任があることが明記されています。そのためセンターでは、引っ越しや病気、介護などの理由で引き取り依頼があっても簡単に引き取るのではなく、まず続けて飼育ができるようにアドバイス。最終的に引きとることになった場合などは、センターで人間と生活できるよう飼養管理してから譲渡しています。

◆飼い猫に対する考え方は？

飼い猫の適切な飼い方として伝えているのが、「安全で快適な環境での屋内飼育をすること」「避妊・去勢手術を行うこと」「名札をつけること」。屋外には、交通事故やケンカによるケガ、病気の感染など猫にとっての危険がいっぱい。避妊・去勢手術は病気のリスクを減らすなど、飼い主にも猫にもメリットがあります。名札は万が一猫が迷子になった時に必要です。

ふれあいの時間

毎週火・木・日
10:30〜11:30、14:00〜15:00
※火・木曜日が祝祭日の場合はお休み
※人数制限があります

兵庫県動物愛護センター 龍野支所
〒679-4167
兵庫県たつの市龍野町富永1311-3
TEL 0791-63-5146

猫のモデルルームポイント6

HousePoint 01

キャットステップ
一言で猫といっても、カラダの大きさはそれぞれ。子猫や老猫の場合、段差が大きいと上がれません。その子の体躯に合わせて高さを変えられるのがベスト。

HousePoint 02

二重扉
玄関など人が出入りするところには内扉を配置して脱走を防ぎましょう。ドアの隙間に挟まって怪我しないよう柔らかいカバーなどを付けるとGOOD！

HousePoint 03

扉付き収納棚
イタズラ防止のために掃除道具や日用品などは扉付きの棚に隠しておくのが◎。キャリーケースを置いておき、慣らしておくと、災害時にも安心です。

HousePoint 04

窓
猫は窓の外を眺めるのが大好き！窓辺に移動しやすいような工夫をしておきましょう。上下に開閉する窓は、猫には開けられないので脱走も防げます。

HousePoint 05

キャットタワー
高いところを好む性質を持つ猫にとって上下運動は欠かせないもの。キャットタワーは運動不足解消にぴったりな上、見張りもできる居場所なんです。

HousePoint 06

床
フローリングの床は、汚れても掃除がラクラク。夏の暑い時期も、冷たくて快適です。床にハウスを置くと隠れ場所にもなって◎。冬は床暖房を完備しています。

（虎猫思想Vol.1,Vol.2の記事内容を再編集しています）

にゃ太郎編集長ニュース

NYATARONEWS

気になったできごとをピックアップ！

宍粟とその周辺の街ネタ
情報をおまちしています。

check!

「失われた田舎暮らしを求めて」

1冊1500円で販売中。
日本語版は虎猫軒でも
販売しています

安富町在住のフランス人が描く理想的な田舎暮らし

wakame tamagoさんはアメリカに本社のあるIT系企業にリモート勤務しつつ、10年ほど前から安富町の古民家で田舎暮らしを続けるフランス人。パリで出会った日本人の奥様とともにサラリーマンとして長く過ごしてきた東京を離れ、理想の田舎暮らしを満喫しています。

「失われた田舎暮らしを求めて」は、東京を離れ、田舎暮らしをスタートさせた家族と、周囲の人たちとの暮らしについてをwakame tamagoさん、そして野生動物たちの視点で描いたエッセイ風漫画。5年間かけて描いた作品をまとめて2021年に出版したもの。日本語以外にフランス語版もあるこの作品、フランス映画そのもののシニカルなファンタジー・コメディに仕上げられています。クスッと笑えて考えさせられる、そんな話題が定期更新されているブログもおすすめ。

---

tam tonttu
(たむ とんとぅ)

くまた
(Mサイズ)

おめかしにゃんこ
(Mサイズ)

なめこ猫(Mサイズ)

いつもそばにいてほしくなる友だちになるぬいぐるみ

昨年12月より「tam tonttu(たむ とんとぅ)」としての活動をスタートさせた、たつの市在住のぬいぐるみ作家tamacoさん。柔らかな色調、優しい表情の動物たちのぬいぐるみは、見ているだけでほんわかとした気持ちに。ぎゅっと抱きしめたくなるちょうど良いサイズ感の子やインテリアに似合うシックな色使いの子など、好みの子に出会えそう。これまではハンドメイドマーケット「minne」での販売を中心としての活動でしたが、この春からはハンドメイドマルシェなどにも積極的に出展する予定だとか。また、生まれたばかりの赤ちゃんのための「ファーストトイ」制作にも力を入れていく予定。オーダーも受け付けているので、ぜひメッセージなどで相談を。

minne

古民家ランチ晴るばる＆いやしの森ねはん

0790-60-3006
姫路市安富町安志142

安富町「古民家ランチ晴るばる」は、採れたての自家栽培の野菜と、店主が毎朝市場で仕入れる新鮮な魚、手ごねハンバーグなど、素材にも調理にもこだわったランチスポット。2020年にオープンして以来、ランチタイムをちょっと贅沢に楽しみたい層を中心に人気を集めています。こちらの2階に昨年誕生したのがリラクゼーションサロン「いやしの森ねはん」。30年近く看護師として患者さんに向き合ってきた晴るばる店主の奥様が開いたサロンです。看護師として乳がんの術後ケアや浮腫のケアを専門にしてきた経験を活かして、アロマで心地よく心と体のバランスを整えてくれます。

応援・協賛 に ご協力いただいたみなさま。

虎猫思想では引き続き、趣旨にご賛同ご協賛いただける個人様・法人様を募集しております。ご連絡いただけましたら申込書をお届けします。どうぞよろしくお願いいたします。

TORANEKOKEN
虎猫軒からのお知らせ

2023年4月1日より営業再開

- 営業日　毎週土・日曜(イベント時、臨時休業あり)
- 営業時間 11:00～15:00
- 土曜夜は予約営業
- 食事メニューは事前予約制

注文の多い喫茶店　虎猫軒
宍粟市千種町七野359

メニューが変わります。
詳細はInstagramをチェック

ランチはもちろん、夜のお食事、仕出しもお気軽に！

大阪屋

<問合せ先>
お食事・仕出し **大阪屋** ☎ 0790-72-0070
営業時間／昼11:00～14:00(L.O.13:00) 夜事前予約制
定休日／毎週木曜 住所／兵庫県宍粟市一宮町安積1350-1

尼崎市・朴ゆりこさま

- 山崎町・福岡一志さま
- たまちゃん豆腐　平瀬豆腐店さま
- 波賀町・朴瞳さま
- むぎ＆はな

S E N S A I

CHIKUSA KOGEN
SHISO

虎猫編集室からのお知らせ

虎猫思想は「季刊」に戻ります。

2022年2月22日に発刊した「虎猫思想」。たった2名でつくっている小さな小さなメディアですが、おかげさまでVol.6まで発行することができました。

ですが、隔月発行へ変更しよう！と意気込んでVol.5は11月に、Vol.6を1月に出そうと予定していたものの、世の中が通常に戻り始めたこともあり、ストップしていた出張や会議も増え、全く手が回らない状態になってしまいました。

これでは、取材にご協力いただいた取材先や次の号が出る時期を待っていてくださる読者の方に、かえって失礼ではないのか。嗚呼。しかし、あの締切もこの約束も反故にはできないし、ううう。と自問自答する日々。

改めて体制を見直すとともに、「3ヵ月ごとに定期刊行する」「長く続けていく」と決めた発刊時に立ち返ることにしました。

今号以降の予定は以下のとおりです。多少ずれることもあるかと思いますが、どうぞあたたかく応援いただければ幸いです。

Vol.6	春号2023年 3月22日ごろ	（手にとってくださっているこの号です）
Vol.7	夏号2023年 6月22日ごろ	
Vol.8	秋号2023年 9月22日ごろ	
Vol.9	冬号2023年 12月22日ごろ	まずはVol.10めざして頑張ります。
Vol.10	春号2024年 3月22日ごろ	情報のご提供、配布のサポートなど、ぜひご協力ください。

宍粟の思想を伝えるローカルマガジン
虎猫思想 Vol.6
発行日 2023年3月22日
発行 有限会社FusionFactory
編集 虎猫編集室
兵庫県宍粟市千種町七野359
TEL 050-8882-4359（虎猫編集室）
Toraneko_Shiso Vol.6
Edit&Writing Mica Mihara Photo&design Keita Yamada
価格0円
本誌記載内容の無断転載はご遠慮ください。

にゃ太郎コラム

猫が教えるインクルージョン

飼育放棄や多頭崩壊、動物虐待などの社会問題がある一方で、猫のためにできることがないかと考えてくれている人もたくさんいます。そういう方々を見ておりますと、人間が上、動物が下、という感覚はなく、一緒に生きる仲間という姿勢をお持ちです。

最近、人間の世界ではチームビルドという概念が浸透し、構成するメンバーの個性を尊重した組織づくりが評価されるようになりました。お互いの考えや気持ちを交わし合い、一つの目標に向かって高め合うことができるチームは強い、ということを証明してくれたスポーツ大会もありましたね。ええ、WBCです。あれには感動しました。最高です。

ともに生きるのであれば、どっちが上だとか、どっちが偉いとか、マウントを取り合う関係性は卒業したいもの。猫自体もそういう生き物だろうって？いえいえ、威嚇し喧嘩も辞さないのはナワバリを侵害された場合のみ。お互いの立場を侵害しなければ争いません。争わずに居心地の良い関係を築けるほうがお互い有益ですし、よっぽど相性が悪ければ距離を空けて、それぞれの個性を尊重するほうが平和です。

これからの時代は職場や家庭、どんなチームにおいても鍵になるのは、インクルージョンです。我ら猫と暮らすと、いつの間にか共生の思想へとアップデートできます。時代に合わせた進化と発展のためにも猫と暮らすことをおすすめしますにゃ。

虎猫編集室
Instagram